

信友

信友会事務局

東京都新宿区高田馬場
3丁目45-4
電話 03-5330-1192 (代)

IT革命

会長 中里義弘



信友会の皆様、ご家族共々お元気で活躍のことお慶び申し上げます。昨年四月から前牛山名会長の後を継いで会長を勤めております「なかざと」であります。前会長同様よろしくご支援の程お願い申し上げます。

昨年は世紀末を象徴するかのよう、まさかという事故や災害が洋の東西を問わず多発しました。二十一世紀に入った今年はどのような社会になるのでしょうか。

パソコンの国内出荷台数がカラーテレビを上回り、また世帯普及率十%に達するまでに、ファックスは十九年、パソコンは十三年、これに對して、インターネットはわずか五年という速さで普及したとこのことである。

情報技術(IT)は、これまで業務を効率よく進めるためのツールとの位置付けから、販売、生産、物流などあらゆる企業活動に欠くことのできない資源となった。電子商取引が本格的に動きだし、「IT経営を実践できる企業のみが二十一世紀に生き残れる」とまでいわれるようになった。

ITの先進国、米国ではインターネットは、米国経済に途方もない恩恵をもたらした。しかしその反面、色々の問題を引き起こしていることも報じられている。

第一はサイバー犯罪の急増である。米国のサイバー対策は大統領指示に基づいて、順調に進んでいると期待されていたが、昨年二月には、米国が誇る電子商取引の立て役者のヤフー、アマゾン・ドット・コム、バイ・ドット・コム、Eトレッド等が猛烈なサイバー攻撃を受けた。この攻撃の威力はすさまじく、政府のいかなる対策も全く歯がたたず、営業中断をせざるを得なかったという。

第二はITによって情報産業が行き詰まった報告である。インターネットを通じて、音楽を交換できる「ナップスター」というソフトの利用者が爆発的に増加した。コンパクトディスク(CD)の売り上げに影響すると、危機感を募らせた米国レコード協会と音楽協会は、訴訟を起こしたが、ナップスターは「CDの個人間貸借と同じことだ」と主張し、まだ膠着状態にあるという。個人から見ると、音楽が無料で手に入るのだから願ってもない。しかし、こうした状況が続くと、音楽産業そのものが消滅してしまう。ナップスターをブロックして類似のソフトが次々に現れる。このため、「IT時代に音楽産業は生き残れるのか?」という真剣な議論が起きている。そして音楽のつきに、個人交換の対象となるのは映像だという。

叙勲 おめでとうございます

勲四等旭日小綬章 那須 義光(元通信副団長)
勲四等旭日小綬章 山田 敏雄(元関西地区補給処桂支処長)
勲四等旭日小綬章 牛山 正吾(元通信補給処長)
勲六等瑞宝章 志波 保彦(元北部方面通信群)

信友会 新入会員名簿

(11年12月1日～12年12月1日入会順)

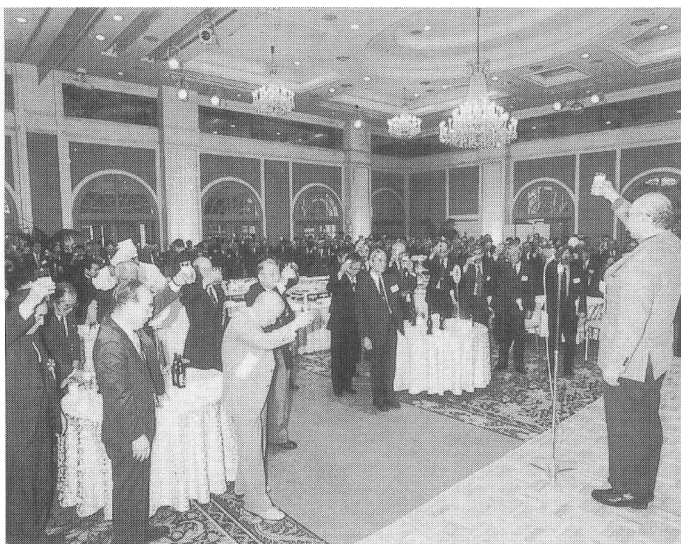
氏名	〒	現住所(電話)	勤務先(電話)	最終補職等
小澤孝男	330-0831	埼玉県大宮市中川585-3 (048-686-5027)	信濃電気(株) (03-3946-1511)	補本 (11.9.1)
菅原静親	664-0006	兵庫県伊丹市鴻池宇前池の下1-1 ラ・ヴェール伊丹見臨池A-201(0727-84-1216)	空港環境整備協会 (06-6856-7300)	中方通群 (11.11.22)
高橋剛	675-0064	兵庫県加古川市加古川町溝口230-1 (0794-20-1157)	日本電通(株) (06-6577-4166)	阪神病院 (11.11.5)
山本忠文	165-0027	東京都中野区野方1-58-11-303 (03-3387-7476)	三菱電機(株) (03-3218-3384)	補本 (11.12.1)
孫竹弘尚	349-0121	埼玉県蓮田市関山1-2-9 (048-768-2808)	コンピュータエンジニアリング サービス(株)(03-3456-7679)	補本 (11.12.15)
八田英一	275-0026	千葉県習志野市谷津4-7-15-101 (047-454-0859)	富士電気化学(株) (03-3434-1279)	通団 (12.2.23)
川口紘二	066-0023	北海道千歳市寿2-2-1 (0123-27-8828)	働エム・シー・シー (03-3434-1279)	北補 (11.11.3)
本多捷治	344-0058	埼玉県春日部市栄町1-2 (048-761-0108)	古野電気(株) (03-5687-0427)	補本 (12.3.8)
住永靖生	179-0075	東京都練馬区高松6-21-13 (03-3995-1789)	アラコム(株) (03-3506-5341)	通団 (12.4.4)
三宅忠男	160-0003	埼玉県入間郡毛呂山町前久保741-63 (0492-95-2256)	防衛調達基盤整備協会 (03-3358-8704)	通団 (12.6.5)
佐藤光武	132-0025	東京都江戸川区松江5-19-19-801 (03-3688-0630)	働日本無線協会 (03-3533-6022)	通校 (12.4.1)
岩本哲彌	177-0044	東京都練馬区上石神井2-33-12-303 (03-3594-8582)	働日立国際電気 (03-3365-9162)	通団 (12.8.1)
鶴谷好寛	373-0806	群馬県太田市龍舞町2031 (0276-45-3838)		通団 (12.8.18)
七田正道	277-0043	千葉県柏市南逆井3-12-3 (0471-72-5036)	働ジョイント・システムズ・ サービス(03-5368-8961)	補本 (12.6.11)
金子勝	239-0812	神奈川県横浜須賀野小原台13-13 (0468-44-6048)	防衛調達基盤整備協会 (03-3358-8704)	通校 (12.7.29)
福島一雄	841-0067	佐賀県鳥栖市西田町274-10 (0942-85-1132)		小郡業 (12.6.20)
林忠行	206-0003	福岡市向陽台6-11 デスクノール 向陽台1-304 (042-378-7029)	富士通(株) (044-434-1869)	関西補 (12.8.1)
鈴木郁生	239-0822	神奈川県横浜須賀野浦賀町2-76-21 (0468-41-6571)	三浦藤沢信用金庫 (0468-26-1515)	通団 (12.11.11)
重村勝弘	235-0021	神奈川県横浜市磯子区岡村7-8-15-102 (045-754-3412)	働日立製作所 (03-5295-5276)	関東補 (12.6.30)
中村豊	234-0055	神奈川県横浜市港南区日野南6-47-13 (045-893-8449)	東芝テスコ(株) (03-3582-2951)	幹部学校 (12.12.1)
内村彰和	186-0003	東京都国立市富士見台1-16-7 (042-572-9137)	働ジョイント・システムズ・ サービス(03-3355-6551)	幹部学校 (12.12.1)
細田修	223-0065	神奈川県横浜市港北区高田東2-14-7 (045-531-3108)	昭和飛行機(株) (03-3347-0605)	北方総監部 (12.11.23)

37周年総会・懇親会

信友会37周年記念の総会及び懇親会を左記のように実施します。また懇親会は恒例により現役と共催で行います。

記

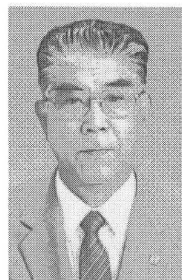
- 一、日時 平成十三年三月三日(土)十一時半より
- (一) 総会 一三〇〇〜二二〇〇
- (二) 懇親会 一二〇〇〜一四〇〇
- 二、場所 第一ホテル東京
- 住所 東京都港区新橋一丁目六
- 電話 〇三三五〇一四四二一
- 三、会費 九〇〇〇円(会場費いただきます)
- (JR新橋駅日比谷口徒歩二分)
- 【お願い】
- 出欠について同封のはがきで御返信下さい。



36周年 懇親会

みちのくからの便り

仙台市 工藤 史郎



東北方面通信群を最後に退職してから早くも十九年、元気でおります。久しぶりに信友会の皆様と紙上をとおしてお目にかかれ、感激しております。何時も「機関紙として最新の「会員名簿」を拝見しており諸先輩をはじめ会員の状況を知ることができ、信友とはかくも強固な組織であるのかと改めて認識するとともに、機関紙、名簿担当の方々に感謝してまいりたいです。さて、みちのくからの便りとしてまず、東北方面通信群連の状況をお知らせしたいと思います。

信群OB会長は、四十周年記念日を最後に後任者にバトンタッチ、学校法人 幸学園も平成十二年九月三十日をもって退職し、今後は晴れて年金生活に入ることになりました。好きなゴルフはOB仲間と週末の続く限り挑戦して行きます。また、仕事で活用したパソコンは、今後は趣味として老妻と共に楽しむべく現在機種選定中「老人に向くパソコン」があったら情報をお願いします。また、二十一年から貸農園で自然に親しみたいと考えております。

家族情報。一人娘を長男に嫁がせ、孫は三人、徒歩十分程の別荘におりますので現在は妻と二人暮らし、築約四十年の木造二階建てを増改築を繰り返して、庭の木は大きくなり過ぎたと言っています。間引きをし、それでも柿の木、びわは毎年たわわに実をならせまします。

みちのく仙台にお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

二〇〇一年 北海道補給処改編に燃える日々

北海道補給処通信部長 山内 豊



通信群には、「通信群協力会・OB会連合会」という強力な協力組織があります。昭和五十五年、第八代群長上田愛彦氏任中に双葉総合開発株式会社菅原高氏、元通信団長安藤一氏(故人)の発案により各協力会、個人、通信群OB会などで構成されており現勢力は三百名有余であり、会員及び群隊長との交流、相互研鑽、親睦を図るとともに、群主催の諸行事には積極的な協力支援参加をしておりです。主なものとしましては「会員による部外講話」「部隊慰問(基地派遣隊を含む)、野外部隊を隔年実施」「各種競技会に副賞贈呈」「年四回の機関誌発行(二十五百部、東北管内各部隊、部外、OB、各方面隊配布)」などその活動は活発です。

改編の概要
全般
武器・弾薬・通信・化学衛生の各部、苗穂(施設・支処(統制機能のみ)及び企画室の業務を統制し、統制・補給・回収及び整備・工作部門に三分割して、新たに整備計画部(統制)、補給部(補給・回収)、整備部(整備・工作)に再編成され、整備部に工作課が新設されます。総務部、調達会計部及び電計課は、そのままで改編しません。

◆通信部
補給課、整備課及び技術課は、機能別業務区分に対応して、装計部、通電課、整備部通電課及び補給部各課(管理・保管・回収課)に三分割されます。

また、補給課補給管理班及び整備課整備管理班の計画・統制の実業務の大半が装計部へ、一部が補給部及び整備部へと分割されますが、補給・回収及び整備の現場業務は、集約倉庫建設に伴い補給品の一部を移動するほか、業務そのものは、大きく変化しません。

◆特徴
①職制・物別編成から機能別編成に再編され、約百名削減されます。
②装計部及び整備部内は職制別各課が並立しますが、補給部内は職制混合課になり、職種カラーは薄められます。
③電計システムにより補給(倉庫管理を含む)、整備及び調達会計業務が、相互に連繋され、総合的に処理されます。

◆効率化・合理化を目標に準備中
改編後は、機能別編成になりませんが、陸幕・補給統制本部及び関係各課は、相互に連繋され、総合的に処理されます。

◆整備部長の椅子
改編後は、装計計画部長は需品科職權から、補給部長は、武器科職權から補職される予定であると噂に聞いております。

◆通信部通信機工場の現通信部の実務中核は、整備部本部になります。通信部長の椅子は、改編時は整備部長の椅子になります。そして、この椅子には通信部長、それ現部長が座るのでは? と予想されています。

もし、この整備部長の椅子に通信科職權の者が座るのであれば、ぜひこの椅子は通信科職權として今後死守して行きたいものです。

◆通信部OB会及び北旭創立記念日通信部懇親会
OB会も部懇親会も名称・要領を変更して従来どおり、継承される予定であります。

OB会は、通信部「通信(部)」として、通信電子業務に従事した自衛官・事務官・技官を受け入れ

陸上自衛隊の調査研究組織の改編について

通信学校研究部総括科長 大塚 淳夫



今年度末に、「陸上自衛隊の部隊運用等の調査研究を一元的・総合的に行う機関として、研究本部に陸上自衛隊に新設し本部長に陸将を充てる」との事、会員の皆様は、ご承知のことかと思ひます。

研究本部の新設に伴い、今までの調査研究の実施の要領、担任、各学校の調査研究の担任・編成等が今年度末から大きく変わることとなっており、陸幕をはじめ、各学校ともその準備に追われています。

これにより、通信学校研究部は主として、教育訓練に関わる調査研究を実施することとなります。即ち、通信科職權の教範類と部隊訓練基準の調査研究を担任することとなります。従って、他の分野の調査研究は、研究本部に移管する事となります。この移管により当然のこととして、研究員も移る

ことになると思います。この結果、研究部は、約三十名の規模から、約十名弱の規模に縮小されます。今まで実施していた実用試験も移管になります。

陸幕が、各学校等研究開発実施部隊に対し、十二月と八月に実施した新体制での調査研究活動について説明しました。変化している事項もありましたが、変化している事項も期待していました(より具体的な説明と期待事項については、九月現在、流動的なところがある様に伺えます。この様なことから、以下、個人的見解(偏見と独断)で述べます。

イメージとして、現在の全方位的かつ「こじんまり」した調査研究から、「八方破れ」で「ダイナミック」な調査研究を研究本部で、今まで以上に「教育訓練」に徹した調査研究を職權学校で、と調査研究活動が変化すると考えます。

「こじんまり」とは、通信科職種のクロージングできない命題で、他が研究実施機関との密接な調整・連携の基(妥協の産物で済まざるを得ない側面を内在する)で実施するため、最大公約数を求める様な調査研究成果になりがちな調査研究を指します。今後は、研究本部内での実施となり、このような密接な連携を必要とする事があると言えそうです。反面、研究本部で担当する通信科幹部の研究に大きく依存するところもありません。即ち、結果として研究成果は従来に比して大きく振れる可能性を有していることです。これは「八方破れ」の調査研究とも言えます。これが良い方に回転すると「ダイナミック」な調査研究になるといえます。これがどちらになるかは、今後の事です。研究本部が実施する調査研究の対象の範囲は、将来の戦い方から個々の装備・編成・運用・教範・部隊訓練基準等々に至るまで広範囲です。この内、装備の具体化と評価が富士に集結します。

各学校等は、この一連の流れの終始を通じて協力することとなりますが、協力関係(命題の一部担任)か意見を述べるまでの広範囲の内)をどのようにするか(律する)について陸幕で検討中であり流動的です。

通信学校研究部が実施する通信科に関する教範等と部隊訓練基準の調査研究は、上流となる将来の戦い方(源流)から始まり、編成・運用の三つの流れが、部隊という運用場面にたどり着くまでに、運用、操作(操法)及び技術等に区分できる三つの教範類と、個人・部隊のスキルレベル・評価の為に部隊訓練基準等との二つに集約され、これを対象としている。従って部隊側から見れば、源流から三つの流れを反映した教範類及び部隊訓練基準等なければならぬ。このために、一貫した調査研究をする上で、将来の陸上自衛隊から装備の実用試験実施、上位教範起草検討及び編制の三分野を理解するとともに必要な資料を収集しておく必要があります。

この様な状況で、通信学校研究部は、新体制に実効的に行きながらも、時間軸上、調査研究実施機関が異なる状態に移行するため、今後一層の諸先輩の英知を借用する事があるかもしれませんので、宜しくお願いいたします。



市ヶ谷A棟及び通信鉄塔

陸自通信電子 の現況

陸幕通信電子課

1 はじめに

平成12年度5月、防衛庁本庁移転に伴い、通信電子課も住み慣れた六本木を後に待望の市ヶ谷新庁舎へ移転し、内局・統幕・情報本部・陸・海・空三幕が一緒に入っているA棟に入庁し、「檜町の老朽化した勤務場所」から「OA化の整備された超近代的なハイテク高層庁舎」へという劇的な勤務環境の変化を経験しました。

檜町では6階の住人として勤務していましたが、新庁舎では1階の住人となり、総括班・通信器材班・電子器材班で1室、電計班・IDDN室で1室の合わせて2フロアの執務室に分かれて勤務しています。

さて、平成13年度は、陸幕改編の本格的検討、15年度完了に向けたいDDN整備の推進、IT関連事業等、多種多様な業務が目白押しですが、装備品等の価格低減に

努めながら、陸自通信電子の将来像を見据えて、通信電子事業の予算要求・調達・補給整備能力の維持・向上に努めるとともに、通信基盤等の整備に向けて鋭意努力する所存です。

2 平成13年度主要通信電子器材の整備
平成13年度主要通信電子器材の整備概要について簡単に説明いたします。

所要充足事業として7Dへ衛星単一通信システム、1Dへ地上レーダ装置2号10式、4Dへ師団対空情報処理システム1/2式、野戦特科情報処理システム1/2式を充足します。

3 陸幕改編
陸幕改編の基本的方向としては「運用機能」「システム機能」と「総合調整機能」の強化を図るとともに、補給統制本部等の業務移管に合わせた「効率化・合理化

施策」を15年度末に実施する方向で合意を見えています。
なお、「システム機能」強化の一貫として、13年度3月から「システム研究課」を設け、通信電子事業の基盤となるネットワーク環境を構築するため、防衛情報通信基盤(DI)を整備するとともに、各種システムの構築・維持管理・接続等より容易にするため、共通運用基盤(COE)及び情報セキュリティ関連の整備を実施する予定です。

4 IDDN整備事業

IDDN整備事業は昭和61年度から始まり、現在関東地区の整備を概ね終了し、北ルートは北海道地区を、西ルートは市ヶ谷から伊丹・呉地区の整備を進めている状況ですが、平成12年8月29日の参事官会議の決定をもって、以下の通り、基本的見直しの考え方が決定しました。

「第1に、防衛マイクログリッドの骨幹部分について自営マイクログリッドの整備を継続し、新規ルートについては、民間回線の借り上げにより複数ルート化を図る。」
「第2に、事業完了は15年度を予定する。」以上の2点です。

また、この他に、伝送容量の大容量化も併せた整備完了に向け、今後とも将来通信のインフラとして十分に対応できる体制づくりのため最後まで努力する所存です。

5 指揮所の近代化事業
陸幕システム及び各方面隊指揮システムは、13年3月をもって概ね整備を終了するとともに、中央指揮システム(CCS)との接続を完了し、陸幕から各方面隊等へ一貫したネットワークが構成されます。

6 IT(DI、COE、セキュリティ)関連事業

近年、世を上げて「IT革命」が騒がれていますが、13年度から防衛庁としても総合的ネットワーク環境を構築するため、防衛情報通信基盤(DI)を整備するとともに、各種システムの構築・維持管理・接続等より容易にするため、共通運用基盤(COE)及び情報セキュリティ関連の整備を実施する予定です。

また、「ATM交換網の整備」の事業化を予定しています。これは、これまで、陸・海・空各目衛隊が独自に整備していたデータ交換網を統合化するとともに、各基地LAN間の相互接続を実現するためのものです。

7 おわりに
平成13年度は、次期中期防衛力整備計画の初年度であり、将来の通信電子事業に係る重要な年度と言えます。なにとともに初めが肝心であり、「IT革命」を追い風として、通信電子課全員一致協力して努力していく所存であります。

通信電子課の業務のあり方について、信友会の皆様方の一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、それぞれの分野での益々のご活躍とご健勝を祈念いたします。

事務局だより

一 信友会会長の交代

平成六年から六年間会長を務められた牛山正吾氏に代わり、中里義弘氏(防大三期)が本年度総会において会長に選出されました。

二 信友会役員の紹介
会長の交代に併せて大幅な役員の交代がありました。特に信友会の発足以来事務局局長であった矢口弘平愛日会長はじめ、三石勉氏、福井繁氏、木部英人氏、植村明矩氏、堀内迪男氏が退任されました。そのご苦労に厚く感謝いたします。現在の役員は次のとおりです。

【計報】 謹んで御冥福をお祈り申し上げます

(平成12年12月1日現在)

氏名	御逝去年月日	〒	御遺族住所(電話)
阿武泰亮	H.11.5.27	759-3721	山口市秋吉三見705 (0838-27-0503)
明石 豊	H.8.2.18	417-0844	静岡県富士市松新田267-1 (0545-32-1407)
池田 照彦	H.11.11.21	248-0014	神奈川県鎌倉市比ガ浜3-1-10 (0467-25-3413)
石澤 恭一	H.10.10.20	220-0006	神奈川県横浜市西区宮谷25-2 ミツ沢ハイタウン1-1102 (045-312-0922)
久野 春夫	H.12.4.26	236-0033	神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-45-19 (045-753-1050)
熊澤 勝	H.11.10.25	030-0852	青森県青森市大字宇崎64-147 (0177-39-4486)
坂 武男	H.12.1.30	514-0035	三重県津市西丸之内18-28 (059-227-9647)
杉山 滋夫	H.11.5.22	179-0075	東京都練馬区高松6-7-2 (03-3997-2688)
墨矢 和彦	H.11.9.18	167-0023	東京都杉並区上井草2-37-11 (03-3390-6335)
角町 哲	H.12.5.6	175-0092	東京都板橋区赤塚6-2-4 (03-3938-6698)
富田 時男	H.11.8	203-0044	東京都東久留米市柳窪2-12-4 (0424-74-3556)
中瀬 直明	H.12.6.20	195-0061	東京都町田市緑川12-15-3-304 (042-735-6558)
中根 平次	H.7.3.18	474-0057	愛知県大府市共和町茶屋47-419 (0662-47-5702)
長谷川 剛	H.12.7.1	249-0006	神奈川県厚木市厚木7-3-45 ペルメゾン厚木クエスト602 (0468-73-7193)
長谷川 正男	H.10.11.1	336-0005	埼玉県浦和市東仲町25-5 (048-881-0819)
松岡 實	H.11.11.10	005-0803	北海道札幌市南区川沿三条2-2-18 (011-572-9115)
松林 栄	H.11.3.27	154-0022	東京都世田谷区梅丘2-22-13 (03-3429-0475)
松本 直典	H.8	356-0007	埼玉県上尾市市北野1-8-14 (0492-63-0525)
溝口 寿茂	H.12.8.27	207-0014	東京都東大和市南南3-15-9 (042-564-6525)
八木 登	H.11.10.15	245-0005	神奈川県横浜市泉区白百合2-8-2 (045-811-0120)
吉松 秀信	H.12.3.21	215-0005	神奈川県川崎市麻生区千代ヶ丘3-20-13 (044-954-3568)
和田 兼雄	H.12.3.21	273-0021	千葉県船橋市海神6-21-21 (047-431-6483)

三 信友会総会・懇親会の開催

昨年度は、会員百七十名、現役百二十四名の参加を得て盛大に開催することができました。皆様の協力ご支援有難うございました。今年度は別途ご案内のとおり、平成十三年三月三日(土)第一ホテル(新橋)において例年どおり開催をいたします。多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

四 地区懇親会の実施
昨年度は、西方通信群の記念日に併せて、地区懇親会を実施し、地方会員の方々と親睦を図ることができました。

五 名簿の発行
本年度は、名簿修正資料を送付いたしましたので、既発刊名簿と併せてご利用いただけます。

六 UNDOF 通信隊員への激励
ゴラン高原派遣隊の通信要員として現地で活躍しておられる通信隊員に対して、信友会より「金一封」をお贈りし、激励いたします。

編集後記

長らく編集を担当してこられた木部英人氏が退任されました。二十一世紀のキーワードに「IT革命」をはじめ元気な高齢者の時代、女性の時代、地方の時代等がありますが、今回は、そのキーワードに相応しい方々からの寄稿をいただきました。

平成12年度信友会会計報告

(H12.1.1~H12.12.31)

(単位:円)

収 入	支 出
前年度繰越 3,968,164.-	慶弔費(PKO奨励金) 182,000.-
終身会費 270,000.-	通信事務費 435,365.-
通信事務費 1,796,000.-	印刷費 571,924.-
利子等 5,200.-	謝礼 37,000.-
第36回総会収入 2,576,000.-	地方(WA)交付 100,000.-
	第36回総会支出 2,565,395.-
	次年度繰越 4,723,680.-
計 8,615,364.-	計 8,615,364.-

以上のとおり報告します。

平成12年12月31日

会計幹事 柴山 進 ◎

水口 平 ◎

監査の結果相違ありません。

平成12年12月31日

監事 熊谷 猛 ◎

栗原 廣 ◎